

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
<p>あなたも私もみんな家族 く愛と人のあふれるまち</p>	<p>町内ごとに集いの場をつくる</p>	<p>高齢者</p>	<p>高齢者の孤立防止と社会参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> • SNSを活用した繋がり • 家族、近所の付き合い • 若年世代との交流の機会 • 地域の支援者の確保 	<ul style="list-style-type: none"> • 集いの場づくり • 若年世代との交流の機会を作る 	<p>（ふれあいサロンについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> • サロン担当者と関係事務所との調整会議開催 • ボランティア保険加入金、開催回数による助成金を支援 <p>（健康クラブについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 町内ごとに立上げ説明会を開催（R3年済） • 8つの健康クラブへの支援 1町内健康クラブ（毎週月曜日午前10：00～） 2町内健康クラブ（毎週金曜日午前10：00～） 3町内健康クラブ（毎週金曜日午前10：00～） 4町内健康クラブ（毎週木曜日午後1：00～） 5町内健康クラブ（毎週木曜日午前10：00～） かわせみ健康クラブ（毎週火曜日午前10：00～） 第6町内健康クラブ（毎週木曜日午前10：00～） 7町内健康クラブ（毎週木曜日午前10：00～） • ボランティア保険加入金（初年度のみ）支援 • おもり等の物品及び体操指導の支援
			<p>高齢者の体力維持と健康問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 食生活を整えることの必要性が浸透していない • 健康診断実施の周知 • 散歩や外出する際の危険 • 実態、ニーズの把握 • 行事や健康診断等の働きかけ、案内の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> • 健康体操といきいきサロンの加入促進、歓迎 • 体力維持の為、散歩コースのモデルコースを広く募集し、マップを作る 	<ul style="list-style-type: none"> • 75歳以上の1人暮らし高齢者の方へ歳暮の品配布事業の継続 • ワクワク散歩コースの発見 • 高齢者と若年層との交流を図る • 認知症高齢者に対する研修会の企画（認知症サポーター養成講座等） • 徘徊声掛け模擬訓練の実施
			<p>認知症高齢者に対する理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 町内で支える体制づくり • 認知症高齢者の実態把握、対応方法（知識としてだけでなく体験が必要ではないか） • 家族が抱える不安、悩みへの対応（対応方法は合っているのか、日々の介護疲れで相談に行く余裕がない） 	<ul style="list-style-type: none"> • 日頃からの声掛け、見守り • 認知症についての知識や対応方法について学ぶ機会を設ける • 支援機関、相談窓口の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> • 75歳以上の1人暮らし高齢者の方へ歳暮の品配布事業の継続 • ワクワク散歩コースの発見 • 高齢者と若年層との交流を図る • 認知症高齢者に対する研修会の企画（認知症サポーター養成講座等） • 徘徊声掛け模擬訓練の実施
	<p>体理解の深化を強め、繋る</p>	<p>障がい児・者</p>	<p>障がい児・者に対する理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 正しい知識を身につける • 実態把握（どういふ方が居るのか） • 特性に応じた対応方法 	<ul style="list-style-type: none"> • 障がいのある方への理解を深める • 学ぶ機会を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> • 障がい者相談支援センターとえんじえるスマイル（障がい児親の会）とのコラボで話を聴く会を計画 • えんじえるスマイルへの支援継続
	<p>障がい児・者の孤立防止と社会参加</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 当事者、家族の困り感、ニーズの把握 • 交流の機会、場を設ける • 障がい児・者に対する偏った見方、考え方 	<ul style="list-style-type: none"> • 交流の機会、場を設ける • 災害時要援護者名簿の活用 	<ul style="list-style-type: none"> • 体協と協力し、高齢者、障がい者、子ども等世代間交流の機会を設ける（バタンク大会等を検討） • 体協と相談し、まずはできることから始める事で一致 	
	<p>地域で見守る</p>	<p>子ども・子育て</p>	<p>子ども子育て家庭の見守り</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 遊び場の確保、環境整備 • 共働き世帯の増加 • 子育てに関する情報の発信、周知 • 学外活動をサポートする専門家の確保 • 声掛け、挨拶に返答がない 	<ul style="list-style-type: none"> • 既存の集いの場を広報する 	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て支援ネットワークで湖東中、マリスト学園生と地域の乳幼児とふれあい交流支援の継続
	<p>子育て家庭の孤立と貧困問題</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 個人情報で把握が困難（情報が少ない） • 部活が無くなり、放課後の児童の居場所が必要 • 相談場所、機関の周知 • 子育て家庭同士が支え合える仕組みづくり • 児童育成クラブの活用 	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども食堂、地域食堂について検討する • 地域行事への参加呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て支援ネットワーク会議開催（年3回）継続 • 子育てサロンめだかクラブへの支援継続 • 地域食堂（子ども食堂）を考える会の企画 	
	<p>隣保組の活用</p>	<p>災害・防災</p>	<p>避難支援体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 要配慮者の把握、避難支援方法の周知 • 地域で差がある（全体の底上げが必要） • 連絡体制の強化 • ハザードマップの周知、活用 • 情報収集場所、収集方法の周知 	<ul style="list-style-type: none"> • 災害時要援護者名簿の活用 • 防災教育の機会を設ける • 日頃からの声掛け、見守り 	<ul style="list-style-type: none"> • 民児協と協力し、要援護者の避難先の確認作業を継続して行う
	<p>避難時における避難</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 災害の種類、様子による訓練の実施 • コロナ禍における避難 • 避難所の情報周知（何人まで収容可能か等） • 在宅避難時に配給、情報が入らなかった 	<ul style="list-style-type: none"> • 支援者同士の情報の共有を行う • 災害時の近隣への声掛け、安全確認 	<ul style="list-style-type: none"> • 各町内での避難所運営ゲ-ム（HUG）研修を企画 	
	<p>地域をつなぐ体制づくり</p>	<p>その他</p>	<p>環境と治安（ゴミステーション、騒音トラブル）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ゴミ出しのルールが守られていない（不法投棄、持ち去り等） • 街灯が少なく危険 • バイクの騒音、工事の騒音 • 通学路を通る車が多い、減速しない • ゴミのリサイクルについての周知 	<ul style="list-style-type: none"> • 各関係機関、団体と情報の共有を図る 	<ul style="list-style-type: none"> • 自治協において地域団体間との情報共有を図る • 自治協だよりにより自治協の組織図掲載を依頼し、各地域団体の周知を図る
	<p>地域役員の担い手不足</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 各地域団体の活動内容の周知 • 若い世代の担い手がない 	<ul style="list-style-type: none"> • 自治協と連携し、地域団体について啓発を行う • 地域役員のなり手の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> • 自治会と協力し、空き家の実態把握を行う 	
	<p>空き地・空き家・ゴミ屋敷問題</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 動物の放し飼い、野良猫、動物虐待 • 空き地・空き家の管理不足に伴う害虫、雑草等 	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家の実態把握を行う 		